

学校運営協議会実施報告書（兼）議事録

狛江第一中学校長 吉田 知弘

狛江第一小学校長 荒川 元邦

緑野小学校長 亀田 親子

会議	令和 6 年度第 3 回 一 中ゾーン学校運営協議会
実施日時	令和 6 年 12 月 17 日 13時25分 ～ 16時45分
実施場所	狛江市立緑野小学校 学習室
1 出席者	荒川 元邦、内海 貴美、梅本 ろり絵、亀井 和美、富永 浩正、中畑 順子、亀田 親子、大塚 直美、愛甲 悦子、吉田 和夫、吉田 知弘、佐藤 淳哉、篠宮 悠子
2 欠席者	島本 和彦、長島 理、増川 邦弘、渡邊 智子
3 傍聴	0 名
4 議題	(1) 授業参観 (2) 分科会 (3) 協議・意見交換 ・一中ゾーンの取組の成果、課題及び今後の方向性について
5 内容	(1) 授業参観 ・緑野小の全学級の授業参観 (2) 分科会 ・一小、緑野小、一中の教員が各分科会（①から⑥）に分かれて参加 ・学校運営協議会委員は、各分科会の様子を視察 ①体力向上 ②生活科・総合的な学習の時間 ③TCT ④特別支援教育 ⑤外国語 ⑥キャリア教育 (3) 協議・意見交換 ・一中ゾーンの取組の成果、課題及び今後の方向性について ○児童生徒の「あれをしたい」を軸に、学習のめあてに沿って子供が主体的に学習を進めている。 ○情報モラル教育で各校に課題が見られる。 ○ゾーンで連携する上で、キャリアパスポートがスムーズに引き継げるとよい。 ○外国語は小学校で感じている「楽しさ」を維持しながら、中学校へつなげるとよい。 ○体力向上では、運動の二極化が進んでいる。何よりも「楽しく」を大事にしたい。 ○学習カードなど、一小、緑野小で共通のものが使えるとよい。 ○クラスごとのまとまりがあり、真剣に授業に臨む姿が見られた。 ○子供にモラルを説くのであれば、大人も言葉遣いなどに気を配る必要がある。 ○隣にある学校同士、今回のような交流を深める場がもっと増えるとよい。 ○特別支援教育を全教員が学べるとよい。

※校長印は不要

※内容は簡潔に箇条書き

※内容は別紙添付も可